



取締役会長
若林 勝三

取締役社長
鈴木 秀夫

はじめに

皆様には、日頃より格別のご支援を賜り厚くお礼を申し上げます。

当社は、国内唯一の、家計地震保険の再保険専門会社として昭和41年に設立されて以来、現在に至るまで再保険金の支払態勢の強化・充実に努めるとともに、その裏付けとなる資産の管理・運用にも十分意を用いてまいりました。

昨年来、サモア、ハイチ、チリなどの世界各地でマグニチュード7から8クラスの巨大地震が発生し大きな被害となりました。チリ地震では日本でも17年ぶりの大津波警報が発令され、長時間に亘り沿岸住民の避難が続くなど生活に影響を及ぼしました。また、国内では大規模な地震こそなかったものの、駿河湾を震源とする地震や伊豆半島東方沖を震源とする地震、沖縄本島近海を震源とする地震などが発生いたしました。

こうした状況から、国民の地震保険に対する関心が高まる中、地震保険の保有契約件数は、地震保険料の引き下げや地震保険料所得控除などの浸透もあって順調に増加し、平成22年3月末で1,227万件に達しました。

また、資産運用面では、円高の進行はあったものの、着実に運用益を確保することが出来ました。その結果、総資産は1兆922億円となりました。

このような環境下で、地震保険制度における当社の役割と責任は今後もいっそう重くなり、今まで以上に厳しい経営が求められてきております。当社はこうした状況に対応すべく、地震保険制度の充実・発展に積極的な役割を發揮し、地震保険に対する専門性向上や資産運用・リスク管理の強化、事業継続計画の拡充などの課題実現に向けて取り組んでいく所存でございます。

このディスクロージャー誌「日本地震再保険の現状2010」は当社の現状と活動を明らかにするために作成いたしました。当社のホームページもあわせてご覧いただき、当社の事業活動についてご理解を賜るとともにご意見を頂戴できれば幸いです。

平成22年7月

日本地震再保険株式会社

取締役社長

鈴木 秀夫